



2020-2021年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーは 機会の扉を開く

RI 会長
ホルガー・クナーク

第2720地区ガバナー	硯	川	昭	一
第2720地区ガバナーエレクト	大	森	克	磨
大分第3グループガバナー補佐	白	杵	徳	二

第2720地区 大分第3グループ 別府東ロータリークラブ

例会日：毎週木曜日 12時30分
例会場：ホテルサンバリーアネックス(1・2・3週)
杉乃井ホテル(4・5週)
事務所：別府市西野口1番1号
〒874-0931 (青山通りビル3階)
TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
E-mail: jigoku@beppuhigashi-rc.jp
info@beppu4rc.jp
<http://www.beppuhigashi-rc.jp/>

会長 檀上 陽一 幹事 笠木 隆弘

VOL. 42-No.4 2020年7月28日

第1970回例会

公共イメージ委員長 西 貴之



“生涯を通じて
わかりあえる友を増やす”

別府東RC 会長テーマ

■ 点 鐘 18時00分

■ ロータリーソング 君が代・奉仕の理想

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

■ ゲスト

硯川 昭一氏
(国際ロータリー第2720地区 ガバナー)

■ 出席報告 委員長 一力 秀次

本	会員総数	43名	ゲスト	6名
	出席数	31名	ビジター	0名
日	欠席数	11名	出席率	73.81%

出席規定免除(b)：岩瀬

■ メイクアップ

■ 欠 席

安部、阿南、石田、久保田、榎田、西林、二宮(滋)、
沼田、岡本、梅津、但馬

硯川和歌子氏

(国際ロータリー第2720地区 ガバナー令夫人)

白杵 徳二氏

(第2720地区大分第3グループ ガバナー補佐)

田中 俊宏氏

(第2720地区 幹事)

井戸川 寛氏

(第2720地区 副幹事)

玉ノ井博明氏

(第2720地区2006-2007年度 ガバナー)

■ 会長の時間

別府ロータリークラブ会長 権藤 和雄

このたびの九州各地の豪雨により亡くなられた皆様、被災された多くの皆様に心から、お悔やみとお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

改めまして みなさんこんばんは 別府ロータリークラブ会長の権藤和雄です。本日は別府北、別府東、別府中央、湯布院、日出、別府の6ロータリー合同のガバナー公式訪問例会に多数の会員の皆さまにご出席いただきまして誠にありがとうございます。硯川昭一ガバナー、和歌子夫人、田中幹事、井戸川副幹事、白杵ガバナー補佐、地区役員の方々、ようこそ別府へ、

ご来訪いただきまして厚く御礼を申し上げます。

本来ならばホストの別府東ロータリーの檀上会長が会長の時間をのべるところではございますが、ガバナーのスローガンにありますように今こそ心ひとつに、WITHロータリー、この言葉にありますように、今回の例会の進行を、6ロータリーの会長さん全員で役割分担をして、全メンバーで合同例会を、今こそ心ひとつに盛り上げようとの趣旨でご指名を頂きましたので、進めて参りますどうぞよろしくお願い致します。このあとガバナーよりたっぷりとお話を頂きますが、硯川ガバナーのメッセージ中に、「日本のロータリーが100周年を迎える令和2年。想像だにできなかったコロナ禍により、ロータリー活動が正常に行えていないのではないのでしょうか。今こそ、一つ一つのクラブが、またお一人お一人が強く繋がるのがこの1年の最大のテーマだと考えます」この言葉が非常に強く印象に残っております。

本年は近郊の6ロータリーが、知恵をしぼり、お一人お一人が通年以上に力をあわせて強くつながることが、このコロナ禍を乗り越えて行くことになるのではないかと考えます。

本日のこの合同例会を契機に、出来ることから一步一步、より一層にみなさんで手を携えて奉仕活動を、ロータリー活動を推進できますことを祈念して会長の時間とさせて頂きます。本日は最後までどうぞよろしくお願い致します。

■ 幹事報告 幹事 笠木 隆弘

本日は、当クラブのホストにより「硯川昭一ガバナー公式訪問大分第3グループ6RC合同例会」を開催します。

1. 7月22日(水) 10:30～ ホテルサンバリアアネックスに於いてガバナー公式訪問6RC合同例会実行委員会を開催しました。

出席者：檀上陽一会長、杉本邦弘、神田 剛、瑞木一博、竹内孝夫、山下布美代、赤嶺リサ、中村忠孝、塩見安史、崎村篤史、笠木隆弘 各会員

2. 7月28日(火) 13:00～ ホテルサンバリアアネックスに於いて硯川昭一ガバナーとの会長・幹事懇談会を開催しました。

出席者：檀上陽一会長、羽田野徹副会長、笠木隆弘幹事、森 憲司副幹事

■ ニコボックス 委員長 赤嶺 リサ

○ガバナー、地区幹事、地区副幹事、白桦ガバナー補佐 6口ずつ。

第2720地区



常に前向き我が昭ちゃん

すずりかわしょういち
硯川昭一ガバナー
(熊本江南RC)

熊本・大分



「皆さんこんにちは。ロータリー歴31年、人工透析歴28年の硯川昭一です」というおなじみの口上と笑顔で登場するのが、わが熊本江南RC 50年の歴史の中で2人目のガバナーとなった硯川ガバナー「昭ちゃん」です。

折しも新型コロナ禍が広がり、地区の行事やセミナーの延期や中止を余儀なくされる中、いち早く次善の一手として前例のない「会員向けのDVD作成」「オンラインセミナーの開催」「ウェブでのメッセージ発信」などを決め、即刻実行に移したのです。また、直接会えないからと地区内75人の会長エレクト(当時)全員に直接電話をかけて、彼の思いを伝えました。その行動力に、私たちは改めて驚かされました。どんな困難があっても常に他人のことを考え、前向きで革新的な行動を取れるリーダーです。

そんな硯川ガバナーも、家に帰れば、保育園の時の同級生で、今はその保育園の園長を務める和歌子夫人と3人のお孫さんに囲まれる好々爺。小さい時から収集が趣味で、軍艦のプラモデルを数百隻、イタリア製ミニカーを2,000台、モデルガン100挺などを専用の部屋にコレクション。熱帯魚の飼育に凝ったり、歌が上手で楽器も奏でる多才な趣味人です。また、長年携わってきた医療や福祉関連施設の設計を通して、赤ちゃんからお年寄りまで安心して暮らせる地域の拠点づくりを展開する職業人でもあります。

熊本江南RC 田中俊宏

職業分類-建築設計 1957年3月23日生。(株)硯川設計代表取締役。89年熊本江南RC入会。地区職業奉仕副委員長、会員増強部門長。R財団メジャードナー。PHS。米山功労者。

- ①人見知り。人の和を重んじる。好奇心旺盛
- ②映画「スター・ウォーズ」。小説『架空戦記』。クラシック音楽
- ③最初は総理大臣。恩師との出会いで、小学校の先生

国際ロータリー第2720地区 2020-2021年度 硯川昭一ガバナー公式訪問大分第3グループ6RC合同例会 2020年7月28日：於 ホテルサンバリーアネックス



大分第3グループ6RC合同例会

- 17:30~ 《各クラブ ガバナーとの記念写真撮影》
 18:00~ 司会 別府東RC SAA 瑞木一博
 (1) 開会宣言 湯布院RC会長 吉村幸治
 (2) 物故会員へ黙祷 (30秒)
 (3) 点 鐘 日出RC会長 加賀山茂
 (4) 「君が代」斉唱 並びにロータリーソング「奉仕の理想」
 別府東RCソングリーダー 崎村篤史
 (5) ゲストならびに参加クラブの紹介 別府東RC会長 榎上陽一
 国際ロータリー第2720地区ガバナー 硯川昭一君
 ガバナー令夫人 硯川和歌子さん
 第2720地区大分第3グループガバナー補佐 白杵徳二君
 第2720地区幹事 田中俊宏君
 第2720地区副幹事 井戸川 寛君
 第2720地区2006-2007年度ガバナー 玉ノ井博明君
- ※ 米山奨学生 妻 超くん (世話クラブ: 別府RC)
 米山奨学生 ダカル ビシヤルくん (世話クラブ: 別府北RC)
 米山奨学生 ワルダナ, トリスカ シヤタワ ウィスヌくん (世話クラブ: 別府東RC)
- (6) ガバナーへクラブバナー贈呈
 (7) 大分第3グループ6RC新会員紹介 別府東RC SAA 瑞木一博
 (8) 会長の時間 別府RC会長 権藤和雄
 (9) 幹事報告 別府RC幹事 永松直樹
 (10) 出席報告 別府東RC出席委員長 一力秀次
 (11) 卓 話 『ガバナーアドレス』
 国際ロータリー第2720地区ガバナー 硯川昭一
 別府中央RC会長 西馬良和
 別府北RC会長 三ヶ尻英明
 日出RC会長 加賀山茂
- (12) 謝 辞
 (13) 閉会宣言
 (14) 点 鐘

大分第3グループ6RC合同懇親会

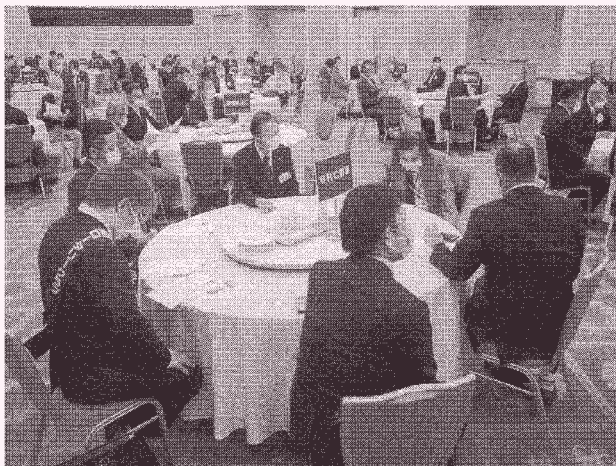
- 19:00~ 司会 別府東RC親睦委員 塩見安史
1. 開会の辞 別府北RC会長 三ヶ尻英明
 2. 歓迎の挨拶 湯布院RC会長 吉村幸治
 3. ガバナー挨拶 RI第2720地区ガバナー 硯川昭一君
 4. ガバナーへ記念品、令夫人へ花束贈呈
 5. ニコボックス披露 別府東RCニコボックス委員長 赤瀬リサ
 6. 豪雨災害義援金 目録の贈呈
 別府東RCチャーターメンバー 樽谷壽生
 7. 乾杯の挨拶 日出RC会長 加賀山茂
 8. 祝 宴 *別府東RC親睦委員会担当
 9. 余 興
 10. 手に手つないで
 11. 閉会の辞 別府東RC会長 榎上陽一

硯川昭一ガバナーが公式訪問

豊かで意義ある人生を

大分第3グループ6RCC合同例会

「奉仕の理想」を個人、職業、社会生活実践の基盤とする、実業人や専門職業人によって構成された国際的な社会奉仕連合団体「国際ロータリー(RI)」。大分、熊本75クラブ2428人の最高責任者である地区ガバナーの公式訪問を受けての例会。7月1日の年度初め大分、熊本両県を12グループに分け、「大分第3グループ」が例会、懇親会を28日午後6時、ホテルサンバリアアネックスで開催、101人が出席した。



101人が出席した6RCC合同例会



卓話をする硯川昭一ガバナー

今年度ガバナーは熊本市在住の硯川昭一氏(熊本江南RCC所属)。G事務局スタッフらと来別。地元は別府・別府北・別府東・別府中央・日出・湯布院の6RCC。当会のホストは別府東RCCが担当。コロナ禍にかかわらず盛

会となった。吉村幸治・湯布院RCC会長の開会宣言後、出席者全員で物故会員の津末美代子さん(享年74)に今年1月4日死去、別府中央RCC、ロータリー歴19年11カ月と7月豪雨の犠牲者に対して黙とうを捧げた。続いて、点鐘を加賀山・日出RCC会長が鳴らした。今回のゲストの硯川ガバナー、和歌子夫人、白杵徳二・地区大分第3グループガバナー補

佐、田中俊宏・地区幹事、井戸川寛・地区副幹事、玉ノ井博明・2006-07年度ガバナーの6人が紹介された。司会の瑞木一博別府東クラブSAAが大分第3グループ6RCC新会員を紹介した。「会長の時間」として権藤和雄・別府RCC会長が「6RCCの会長がそれぞれ役割を持って、私がここを担当します。ガバナーのメッセージの中に『日本のロータリーが100周年を迎える令和2年。想像だにできなかったコロナ禍の中で、ロータ

リー活動が正常に出来ないのではないかと。今こそ一人ひとりが強く結びつくことが、この一年の最大のテーマだと考える」とあります。この言葉が非常に強く心に残っています。近郊の6RCCが知恵を絞らだし、一人ひとりが周年以上に力を合わせてつなぐことが、コロナ禍を乗り越えていくことになると思う」と述べた。

永松直樹・別府RCC幹事が幹事報告、一力秀次・別府東RCC出席委員長が出席報告をした。この後、硯川ガバナーが「ガバナードレス」をテーマに卓話をした。初めに「別府中央RCCの仲間が亡くなったと聞き、心から『冥福をお祈り申し上げます』と述べた。硯川ガバナーは今年1月、米国カリフォルニア州サンディエゴであった国際協議会に出席した。本会議は、8

西馬良和・別府中央RCC会長が「硯川ガバナー、熊本から本当に遠路、別府まで来ていただき、ありがとうございます。新型コロナウイルスの緊急事態宣言が発令されている中、ガバナーが会長全員に電話をしてくださいました。その際、『皆さん、元気ですか。クラブの皆さん、元気ですか』と声をかけていた感じがしました。また『本日は会長エレクトをやりたかったが、中止になってすまない』という言葉をいただきました。いかに、ガバナーが地区の皆さんのことを考えているのか、本当に身に染みて分かりました」と謝辞を述べた。

三ヶ尻英明・別府北RCC会長が閉会宣言をし、加賀山・日出RCC会長が点鐘を鳴らして、例会を終了した。続いて、懇親会も同所で行われ、会員相互の融和親睦を交流を深めた。

(令和2年7月30日 今日新聞)